

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、18～23℃台を示し、平年並み～やや高い水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網——一月夜間とシケで出漁日数が少なかった。西彼地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり0.9トンの水揚げで、前週の23%（前年を下回った）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり6トンの水揚げで、前週の1.2倍（前年を上回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり12トンの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。橘湾地区では、カタクチイワシが1日1統当たり5トンの水揚げで、前週の2.5倍（前年を上回った）。
- イカ釣——スルメイカは、対馬東岸地区では、1日1統当たり31kgの水揚げで、前週の1.2倍（前年を下回った）。壱岐勝本地区では1日当たり5.2トンの水揚げで、前週の1.4倍（前年を上回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では、1日1統当たり95kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり5.9トンの水揚げで、前週の2.7倍（前年を上回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり0.6kgの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。
- 定置網——五島有川地区では、ヒラマサなどが1日1統当たり197kgの水揚げ。五島魚目地区では、カンパチなどが1日1統当たり166kgの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり104kgの水揚げ。対馬東岸地区では、マアジなどが1日1統当たり290kgの水揚げ。
- 一本釣——北松宇久地区では、イサキなどが1日当たり285kgの水揚げで、前週の50%（前年を上回った）。野母地区では、マアジが1日1統当たり11kgの水揚げで前週並み（前年並み）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（5/20～5/24の5日間）沖合イカ釣（船凍船）は、アカイカ漁へ出漁。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐諸島周辺～兵庫沖～能登半島沖で操業。鳥取県西部（沖合船）入港船なし。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>